

朝鮮基督教連盟の皆様へ ―謝罪と主にある和解を願いつつ

この度、国交未成立の状態にもかかわらず、朝鮮民主主義人民共和国に、私たちの訪問をお許し頂けたことに先ず心より感謝いたします。

省みまするに今年 2019 年は、朝鮮半島において「3・1 独立運動」の起こりました時から、丁度 100 周年を迎える年です。1910 年、日本政府は強制併合という形で朝鮮半島を植民地化し、以来 36 年に渡り、朝鮮民族に対して、政治、経済、文化、宗教の諸分野に渡り、天皇絶対主義のもと、皇民化政策により、弾圧、搾取、差別の限りを尽くしてきました。私たち日本人キリスト者は、そのような朝鮮半島への侵略と弾圧、不当な支配に反対しなかったことと、むしろ第 2 次世界大戦下においては戦争遂行という国策に協力することで自らの保身をはかったことを心より謝罪いたします。

今尚、朝鮮半島では当時の日本政府の暴虐な罪の傷跡が深く広く残されている事実を思い、心痛み申し訳なく思います。

昨年 4 月、金正恩委員長と文在寅大統領との、38 度線を相互に超える北南和解と対話が実現しましたことは、朝鮮民族にとっては勿論のこと、私たちにとっても大きな喜びでした。北南分断には、植民地支配したことによって朝鮮半島を第二次世界大戦に巻き込んだ日本政府の責任があります。故に、この北南両国の出会いは私たちにとっては感謝と共に、私たちの国の朝鮮侵略の罪の悔い改めを一層強く覚えるものでした。私たちは、北南が分断されたことによる民族の痛みと、北南統一を願う声に鈍感であったことを、今ここに告白します。

そして、朝鮮半島におけるこの喜ばしい事態に対して、私たちは日本人キリスト者として新たな行動へと促されました。それは、日本と朝鮮民主主義人民共和国との、謝罪をふまえての交流、親善、協力の実現です。この事を心から望みつつ、今回の訪朝の旅に参った次第です。正に「この時に」こそ、「和解と共生の開始されるべき時」であると信じます。

私たちは、現安倍政権とははっきり立場を異にしています。明治以降の日本の歴史はアジア諸国に対して、まことに傲慢なものでした。日本はアジア諸国に対して、支配と侵略の歩みを続けた結果、第二次大戦における敗戦を経験するに至りました。その歴史に学ぶことなく、現安倍政権は傲慢な対アジア関係を続けており、貴共和国に対しても非礼極まる「制裁」を続けていますことに心より申し訳なく思っています。私たちは、制裁の解除と人道的支援を日本政府に求める努力を重ねていきたいと強く願っています。

私たちの願いは、朝鮮基督教連盟と日本キリスト教協議会との交流と宣教の協力の実現です。

1984 年に、世界教会協議会（WCC）は「東山荘会議」を開催し、韓国教会協議会と共に Ecumenical Forum for Korea を組織して、朝鮮半島における和解と平和統一に向けた取り組みを続けてきました。この「東山荘会議」に日本キリスト教協議会は積極的に関りましたが、そのような中で昨年 4 月に、日本キリスト教協議会の総幹事として在日大韓基督教会の金性済牧師が就任しました。金総幹事は朝鮮基督教連盟の康明哲牧師と親交を深め、この度の私たちの訪朝が実現した次第です。

また、2018 年年初の金正恩委員長の新年辞に始まり、2 月に開催された平昌オリンピックに北南合同入場、合同チームが参加して以降、同年 4 月には北南首脳会談と板門店宣言の発表が実現し、朝鮮半島の和解と平和統一に向けた歩みが劇的に進展したことも忘れてはならないことと思います。その意味では、朝鮮基督教連盟と韓国教会協議会との交流と宣教の協力も大切な課題です。私たちは、朝鮮基督教連盟と韓国教会協議会との関係構築が、一日も早く進め

られることを祈ります。

願わくは、朝鮮基督教連盟と韓国教会協議会、そして日本キリスト教協議会の三者が共に机を囲んで、祈りを共にしながら将来に向けての話し合いが行われる日の来ますことを切に祈ります。

私たちの創り主であり世界を統べ治められる神は、交流と宣教の協力の実現について、私たちに「今こそ、その時」と御旨を示してくださっていることを信じます。そして、主イエス・キリストの「和解の福音」は、単に友好のレベルで終るのではなく、双方が担っている課題、特に貧困、差別、迫害等への宣教的課題を双方で担い合い、解決に向けて共働する所に至ってこそ「和解の務め」(Ⅱコリント 5:18) は全うされることでしょう。その意味で、今回の訪問をきっかけとして、私たちは朝鮮基督教連盟との宣教協力実現のために祈りをもって努力したく願っています。貴連盟におかれましても、日本の教会との宣教の協力についてお覚えくださいますなら幸いに存じます。

私たちは、貴連盟及び韓国基督教協議会と共に、「御国を来たらせたまえ」の祈りをもって、アジアと世界の平和のために励んで参りたいと思います。

2019年7月19日

日本キリスト教協議会

東アジアの和解と平和委員会 委員長 飯塚拓也

委員 佐野通夫

教育部

総主事 比企敦子